

2018年1月22日

1月31日（水）4年間の学びの集大成を一般公開！ 人文学部「卒業論文報告会」&社会学部「シャカリキフェスティバル」

会場：武蔵大学 江古田キャンパス

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、4年間の学びの集大成として、人文学部と社会学部の4年生による卒業論文・卒業制作の発表会を一般公開します。また、昨年12月に行われた経済学部「ゼミ対抗研究発表大会（ゼミ大会）」「三学部横断ゼミ発表会」など、全学部で学生の報告・発表会を開催し、広く皆さまへ公開しています。

開催概要

この発表会は、1年次から4年間ゼミを必修としている「ゼミの武蔵」の学生の成長を直にご覧いただくため、2012年度より一般公開をはじめました。プログラム詳細は、大学 Web サイトでご覧いただけます。

◆開催日：2018年1月31日（水）◆会場：武蔵大学

人文学部「卒業論文報告会」

13：00～（終了時間は学科ごとに異なります）

- ・英語英米文化学科 8号館7階 8702教室
- ・ヨーロッパ文化学科 8号館5階 8503教室
- ・日本・東アジア文化学科 8号館6階 8603教室

社会学部「シャカリキフェスティバル」*

13：20～（受付13：00～1号館1階、終了時間は会場ごとに異なります）

- ・卒業論文：A会場 1号館1階 1101教室
- ・卒業論文：B会場 1号館地下1階 1001教室
- ・卒業制作、卒業論文：C会場 1号館地下1階 1002教室

*「シャカリキ」には「社会学の力」という意味と「がむしゃらに頑張る」という意味が込められています。競い合う大会ではなく、すべての発表が素晴らしいものであるという考え方のもと「フェスティバル」という表現を使っています。



↑ 昨年の発表の様子

武蔵のゼミ5つの特長

- 1) 1年次からスタート：入学後すぐにゼミが始まります。ゼミを通じて友人もでき、教員からも丁寧な指導を受けられます。
- 2) 全員が履修できる：大規模大学とは異なり、武蔵大学では全学生がゼミを履修します。4年間のゼミで興味を広げ、学びを深めていきます。
- 3) 打ち込める環境：ゼミ活動に使える専用ルームがあり、研究費用の支援もあります。
- 4) 社会を学べる：企業からの課題の解決、国内外でのフィールドワーク、他大学との合同ゼミなど、学外での活動を通して社会を学べる場があります。
- 5) 発表の場がある：全学部に、ゼミの垣根を越えて研究成果を発表する場があります。聴講者にわかりやすく伝える力が試されます。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

— 本件に関するお問い合わせ先 —

武蔵大学 広報室 担当：山野・齋藤（やまの・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp